

# 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要

伊達市教育委員会

## 「学習」に関する調査結果

調査日 令和7年4月17日(木)  
 調査対象 小学校6年499名、中学校3年365名  
 調査教科 小学校:国語、算数、理科 中学校:国語、数学、理科

### 【平均正答率（全国との比較）】

教科	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
全国平均との比較	下回っている	下回っている	下回っている	下回っている	下回っている	下回っている

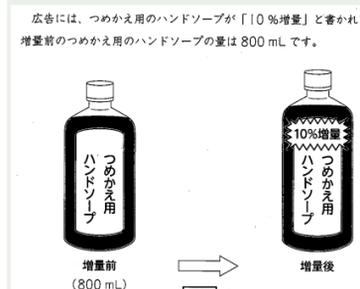
### 【国語】

小学校	中学校
<b>【育っている力】</b> 「言葉の特徴や使い分けに関する事項」 ◎学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力	<b>【育っている力】</b> 「読むこと」 ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定を捉える力
<b>【育てたい力】</b> 「話すこと・聞くこと」 ▲自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる力 「我が国の言語文化に関する事項」 ▲時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く力	<b>【育てたい力】</b> 「話すこと・聞くこと」 ▲資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝えるように表現を工夫する力 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ▲事象や行為を表す語彙の理解

#### 児童生徒質問紙より

(学習に関すること)  
 本市の児童生徒は、「各教科での学びを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っている」「自分にあった教え方、教材、学習時間などになっている」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」という児童生徒の割合が、全国比を上回っています。

### 【算数・数学】

小学校	中学校								
<b>【育っている力】</b> 「図形」 ◎角の大きさについて理解する力	<b>【育っている力】</b> 「データの活用」 ◎相対度数の意味を理解する力								
<b>【育てたい力】</b> 「変化と関係」 ▲「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる力	<b>【育てたい力】</b> 「関数」 ▲一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 $x$ の増加量に対する $y$ の増加量を求めることができる力								
広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は800 mLです。  実際の問題 増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。上の○にあてはまる数を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1</td><td>0.1</td></tr> <tr><td>2</td><td>1.1</td></tr> <tr><td>3</td><td>10</td></tr> <tr><td>4</td><td>110</td></tr> </table>	1	0.1	2	1.1	3	10	4	110	実際の問題 <b>4</b> 一次関数 $y = 6x + 5$ の変化の割合は6です。この一次関数について、 $x$ の増加量が2のときの $y$ の増加量を求めなさい。 <b>「数と計算」</b> ▲式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができる力
1	0.1								
2	1.1								
3	10								
4	110								

#### 学力向上のために大切にしたい学習

- ◀国語▶
- 話し手の考えと自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理しながら、自分の考えをまとめる学習
  - 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する学習
- ◀算数・数学▶
- 基礎的な計算力、概念の理解の定着
  - 問題解決の方法を、式や表、グラフなどを用いて、数学的に説明する学習
- ◀理科▶
- 観察、実験の方法を計画した段階で、どのような結果になるのか見通しをもたせる学習
  - 身に付けた知識及び技能を活用して、さらに身近な自然事象の理解を深めるような学習

### 【理科】

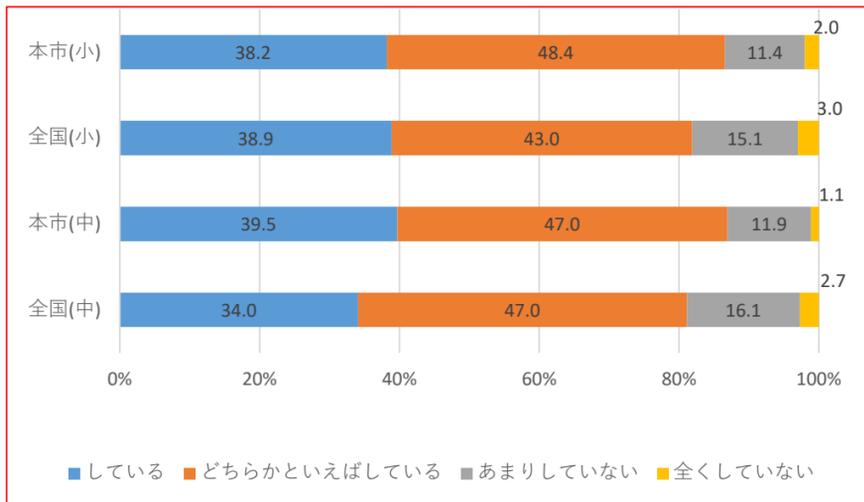
小学校	中学校
<b>【育っている力】</b> 「地球を柱とする領域」 ◎赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現する力 「エネルギーを柱とする領域」 ◎乾電池の直列つなぎに関する知識	<b>【育っている力】</b> 「地球を柱とする領域」 ◎露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析し、解釈する力 「エネルギーを柱とする領域」 ◎身近な電化製品の電気回路での抵抗に関する知識の定着
<b>【育てたい力】</b> 「生命を柱とする領域」 ▲レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する力	<b>【育てたい力】</b> 「生命を柱とする領域」 ▲スケッチから分かる植物の特徴を基に、植物の葉、茎、根のつくりに関する知識を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現する力

# 「生活・学習」に関する調査結果

調査日 令和7年4月18(金)～4月30日(水)  
 調査対象 小学校6年499名、中学校3年365名  
 調査内容 小学校:児童質問紙 中学校:生徒質問紙  
 ※小学校・中学校ともにオンラインで実施

## 【基本的生活習慣】

Q 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

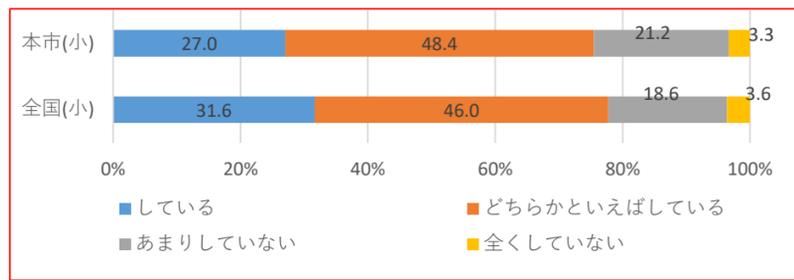


「毎日同じくらいの時刻に寝る(起きる)」「朝食を毎日食べる」といった基本的生活習慣が身に付いている児童生徒の割合は市全体の8割を超えています。

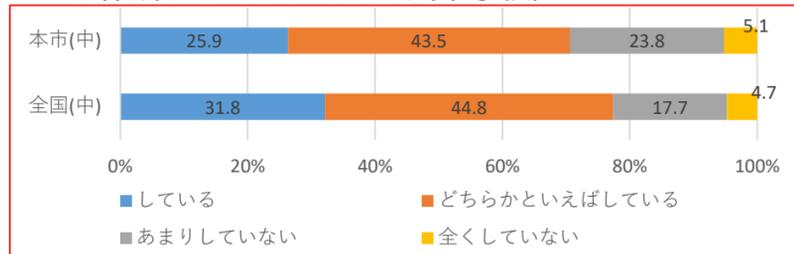
学力向上のためには、睡眠時間の確保、健康な体を育てる食生活、規則正しい生活などの生活習慣を確立することが大切です。基本的生活習慣が身につくと、集中力や持久力がつき、自分の力を十分に発揮できるようになります。

## 【ICT機器の活用】

Q ICT機器(PC・タブレットなど)を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。(小学校)



Q ICT機器(PC・タブレットなど)を使って、学校のプレゼンテーションを作成することができる。(中学校)

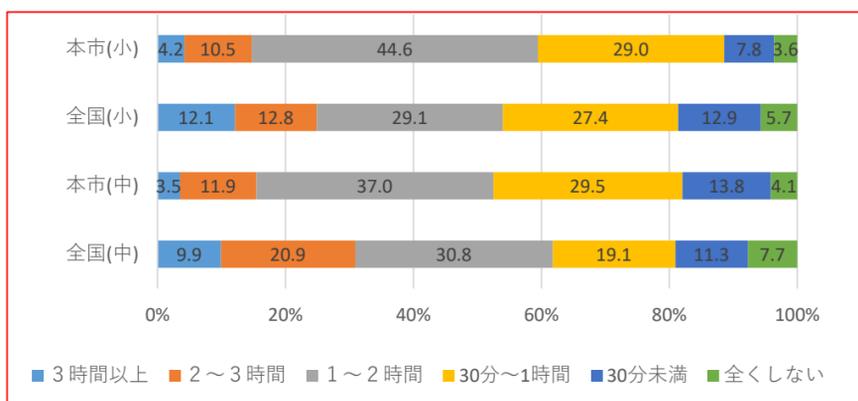


本市では、「ICT機器を使って自分の考えを分かりやすく伝えたり(小学生)、プレゼンテーションを作成したり(中学生)する」、つまり、ICT機器を情報のアウトプットに活用できると感じている児童生徒の割合が、全国と比較して低い傾向にあります。

今後は、教育活動全体を通してICT機器を活用し、情報の収集や整理とともに、効果的なアウトプットの手段として児童生徒がICT機器を使用する場面を意図的に設定していきます。

## 【家庭学習への取り組み】

Q 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(学習塾・家庭教師、インターネットを活用し、学ぶ時間を含む)



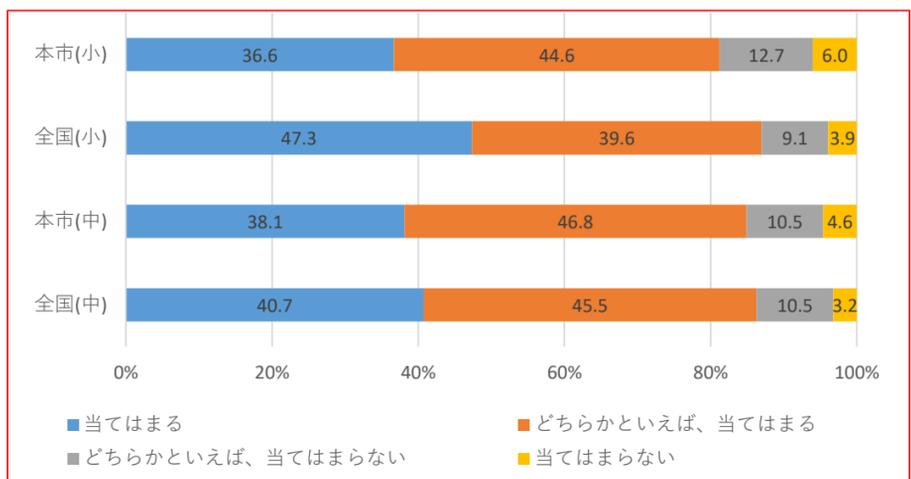
本市の児童生徒は、平日に30分以上家庭学習をしている割合が、全国と比較して高い傾向にあり、家庭で学習する習慣が身に付いてきています。

学校では、「もう一度、自分の考えをまとめたい!」「さらに詳しく調べてみたい!」と児童生徒が感じ、自ら学びを深めたいような授業を行っています。さらに「ふくしまの家庭学習スタンダード」等を活用し、児童生徒が自分の強みや課題を意識しながら、目標の設定、内容の選択をする力(自己マネジメント力)の育成に取り組んでまいります。

今後ご家庭では、お子さんにとって学習に取り組みやすい環境づくりと、発達段階にふさわしい学習時間の確保に、ご協力をお願いいたします。

## 【自己有用感等】

Q 自分にはよいところがあると思いますか



本市の児童生徒は、全国と比較して「自分にはよいところがある」と感じている児童生徒の割合が低い傾向にあります。

学校では、一人一人の考えに寄り添い、よさを認め合う授業を行いながら、安心して意見を言い合える学級づくりを進めています。そうした環境の中で、今後も、児童生徒の挑戦や頑張りを支援し、努力の過程を称賛する言葉かけや関わりを大切にしていまいります。

「よりよい生活習慣づくり」と「よさを認め、励ます言葉かけ」で、一人一人の力を伸ばしていきましょう!